



津幡町立津幡中学校
Tsubata Junior High-School

学校だより

さわやか

令和5年3月2日 <3月号>

〒929-0325

石川県河北郡津幡町字加賀爪又6番地1

TEL 076-289-2213

FAX 076-288-5535



読書から得られるもの

校長 小村 隆典

3月に入りました。東欧ウクライナが戦争状態に陥ってから1年が過ぎましたが、解決の見通しが立たない状況に心が苦しくなります。一刻も早く、人々がもとの生活に戻れることを切に願います。

さて、3年生はいよいよ公立高校学力検査を直前に控えています。体調に気を付けながら**ギリギリまで努力**してほしいと思います。1・2年生は進級を控えています。1年後の自分をイメージし、「**進路に向けて動き出すこと**」、「**精神的に一つ成長をすること**」を意識してください。

3年生は公立高校学力検査と卒業式後に、1・2年生は部活動のない水曜日の放課後など、時間的余裕があるときに読書をおすすめします。読書は単純におもしろく、自分では体験できないようなことを著者や主人公から学べる等、多くのことを得ることができます。私がこれまで読んだ本の中で印象に残っているものをいくつか紹介いたします。

「竜馬がゆく」司馬遼太郎 (文春文庫)

幕末の志士：坂本龍馬の活躍を描いた歴史小説です。1人の若者が多くの人物との出会いで成長しながら志一つで国を変えていく、希望に満ちたストーリーです。坂本龍馬の言葉とされている「**人の世に失敗なんかありゃせんぞ**」からは、「思い切って挑戦すればよい」と背中を押されている気がします。ソフトバンクグループ：孫正義会長も15歳のときにこの本を読み、強く影響を受けたそうです。



「夜と霧」V. E. フランクル (みすず書房)

第二次世界大戦中、精神科医のフランクルさんはユダヤ人というだけでアウシュビッツ強制収容所に入れられてしまいます。人類史上最悪と言われる悲劇を、奇跡的に生き抜いたフランクルさんが記録した実話です。絶望的な状況の中でも、**希望を失うことなく生き抜くことができた理由**や生きる意味について語るフランクルさんの言葉には重みがあります。ロンドンオリンピック金メダリストで後にプロボクシングでも世界王者となった村田諒太さんも「何度も読み返した」と語っています。多少難解であるため、高校生になってから読んで欲しい本です。

「星野道夫の世界」星野道夫 (朝日新聞社)

「本を読むのは苦手」という人でも、星野さんが撮影した写真や書いた文章にはアラスカの自然や動物たちへの**深い愛情**が感じられます。また、自身の憧れを職業にした**星野さんの行動力にも感動**します。星野さんの著作や写真集はたくさんありますがどれもおすすめです。2年生の英語の教科書にも載っています。

